

典籍

分類	整理番号		表題(≧外題・若し≧は容器表題) 一部内題(字題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	頁数	刊記・奥書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	枚番									
一門	神書	1	祝文 祭祀祝文集(目録)	写	江戸後期写	1冊	(刊記写し)「文化二年乙丑春発行/吉田殿御書物所/三條通寺町西へ入町/豊林・河南儀兵衛/大和屋勘兵衛」(奥書)「右祭祀祝文集一巻作者/逸其姓氏不可考頃日獲/一善本於某社庫中校訂/之遂附割剛氏広于世云/爾/享和三年春 汲古堂主人誌」	3-14 受入103	・版本写し。	12.2×19.0	22
一門	神書	2	祭典次第	刊	江戸後期刊	1冊		3-16	(識語・本文末尾)「文政十一年十一月授与」 (識語・後見返)「豊後国臼杵掛町/加嶋彌平太」	18.2×10.7	17
一門	神書	3	神典	写	江戸末写	1冊		3-18	(藏書印)「加島」	12.2×16.6	5
一門	神書	4	神道八部祓	写	江戸末写	1冊		3-19	(藏書印)「加島」	13.5×17.5	24
一門	神書	5	勧請神名録	写	江戸末写	1冊		3-20	(藏書印)「加島」	13.4×17.7	29
一門	神書	6	諸祓并諱辞	写	江戸末写	1冊		4-1 受入104		13.5×17.5	35
一門	神書	7	祝詞式解	写	江戸末写	1冊		4-2 受入102	(識語・表紙)「養和文庫蔵」	12.9×18.2	30
一門	神書	8	祝詞式正訓 附天神/寿詞	刊	明治2年11月 序	1冊	(序)「新刻祝詞式序/明治二年己巳十一月丁亥/従六位守大学大博士平朝臣魏胤」(奥書)「平鐵胤謹書」	4-3 受入106	(識語・後見返)「明治十五年九月新求/養和文庫蔵」	26.1×18.1	56
一門	神書	9	■/■ 阡陌の立石 庚申起元(内)	刊	享和2年正月 序	1冊	(序)「備立石序/享和二年壬戌春正月栄名并聡翁識」 玉田永教	4-4 受入38	・一丁目と二丁目か逆に綴じられているか。 ・(柱題)「街の立石」とあり。	25.5×18.0	29
一門	仏教	1	太元神祭文	写	江戸末写	1冊		3-17		15.9×11.8	20
一門	仏教	2	大般若理趣分口訣	写	江戸後期	1冊		12-5 受入110		24.7×16.2	6
一門	仏教	3	尊天日課(扉)	写	江戸後期写	1冊			・「加島英勝」(識語・扉中)	16.5×12.2	21
一門	仏教	4	翻訳名義集摘要	写	江戸後期	1冊	(奥書)「暹明堂加島英国写 法雲(編)」	受入109	・ラベル「B6-161-右裏」	12.8×19.3	48

分類	整理番号	枝番	表題(≧外題・若しくは容器表題)一部内題(字題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・書名等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
二門	哲学	1	方鑑類要	刊	天保8年4月 刊	6冊	(刊記)「天保八丁酉歲四月発兌/大阪書林 井筒屋 和助[他6軒]」	1-1 受入4	※第一冊(巻一)欠。	25.2×17.9	360
二門	哲学	2	周易集註鈔	刊		4冊		1-2 受入7	※巻三～二十一迄存。 ・陰陽学4とツル。	27.1×18.7	544
二門	哲学	3	周易集註鈔(内)	刊	江戸中期刊 か	1冊 ※		1-4 受入8	※もと、序・巻一・巻二の三冊本であったものが、合綴され一冊存が現状。本来冊類は不明。 ・陰陽学2とツル。	27.1×18.8	173
二門	哲学	4	易学啓蒙	刊	文化庚辰春 刊	4冊 ※	(序1)「易学啓蒙序/文政元年秋九月/治部卿藤原貞直[序2]「易学啓蒙序/文化九年歳在壬申/加賀左親衛士津田鳳卿邦儀撰」 (序3)「易学啓蒙叙/維時/文化七庚午年仲春吉/但馬 小林諒并幹謹識[序4]「自序/文化六己巳年冬既望/加賀後学井上教親王殿撰」 井上鶴洲(教親)	1-3 受入6	※巻一～四。	22.0×15.7	170
二門	哲学	5	易学啓蒙	刊	正徳3年正月 刊	2冊	(刊記)「正徳三年癸巳正月之吉/京師書舖小倉八郎兵衛[他2軒] 空刻[序]「易学啓蒙序/淳熙丙午暮春既望/雲台/真逸手記」	1-5 受入13	・刊記は埋木による。	26.5×18.0	159
二門	哲学	6	周易本義	刊	中国清代	2冊	(序1)「成化己丑冬十二月既望四明後学洪常/識」[序2]「周易序」	1-8 受入10	唐本(清刊本)	26.8×16.8	204
二門	哲学	7	周易 直音傍訓周易句解(内)	刊	宝暦7年4月 序	2冊 ※	(序)「周易句解序/宝暦七年歳在丁丑夏四月/古易館主人新井/白蟻題」 朱祖義子由	1-9 受入9	※巻1～8存。	27.0×17.5	182
二門	哲学	8	再刻/頭書 易经集註	刊	慶応3年1月 刊	13冊	(序1)「周易程子伝/序」[有宋元符二年己卯正月庚申河南/程頤/正叔序入[序2]「易序」 (跋)「春秋館教授昌易謹記[刊記]「慶応三丁卯歳孟春再版/浪華/書肆 心齋橋博労町 河内屋茂兵衛[他7軒]」	1-10 受入2	(蔵書印、朱・陽・方)「小園/文庫」 ・巻末に「略例」上下二巻を付す。	26.4×18.7	554
二門	哲学	9	周易正文	刊	天保7年5月	2冊	(刊記)「天保七年五月/江都書林 横山町三丁目/和泉屋金右衛門[他5軒]山[序]「周易正文序/寛政壬子季冬望吉野永親撰」	1-11 受入5		26.1×18.2	99

分類	整理番号		表題(≠外題・若しくは容器表題) 一部内題(序題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・墨書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	校番									
二門	哲学	10	〔〕原 易原(内題)	刊	天明6年7月 序	1冊	(序)〔易原序/天明六年丙午秋七月平安皆 川願伯恭自述〕 皆川願伯恭	1-15 受入15		26.0×18.6	33
二門	哲学	11	易学集成龜鑑	写	慶応4年8月 起筆か※	1冊	加島英国、英彦、英範	2-4	※内題前に「慶応戊辰秋八月」との年次記 載有。	24.6×16.8	6
二門	哲学	12	易学諺解	刊	嘉永4年10月 再版	2冊	(刊記)「寛政八年丙辰季秋発行/嘉永四年 辛亥冬十月再版/三都/発行/書林 京都三 條通柳屋町 出雲寺文次郎(他9軒)江戸人 形町通松島町 若林喜兵衛/同 高砂町二 若林半七 合板(序)「易学諺解序/安政二 年冬十一月南至/拱窓吉田為政子嗣撰」 佐久間順正	2-5・2-6 受入11		22.3×15.0	95
二門	哲学	13	周易神秘伝	写		1冊	豊嶋亘(口授)、斎藤高寿・井上周治(筆受)	2-7 受入30	・上冊のみ存	16.0×11.3	60
二門	哲学	14	古易精義大成	刊	文化元年9月 序	1冊	(序1)「古易精義大成序/文化紀元秋重九前 一日/梁国荒井公廉書於/浪華誦好書屋 中」(序2)「古易精義序/寛延四辛未年新井 白蛾題」 新井白蛾祐登	2-9 受入25		18.7×13.0	62
二門	哲学	15	周易秘伝書	写	江戸後期写	1冊		2-10 受入31	(籤語・後見返)「陰陽館」	22.9×16.0	20
二門	哲学	16	易学撮要	写	江戸後期写	1冊		2-11 受入39?	・易学関係の抜書。内容、紙の寸法から本 来は二種の抜書の合綴か。 ※寸法:前半24.2~25.0×16.7~17.2、後半 27.8×19.3cm	※	20
二門	哲学	17	易经	写	江戸後期写	2冊	(序)「周易程子伝序/有宋/元符二年己卯正 月庚申河南/程頤正叔序」	2-12 受入12		24.5×16.8	122
二門	哲学	18	〔周易卜料定〕	写	江戸後期	1冊		3-8 受入34	(籤語・裏表紙)「下/預朝録に記之」 ・「周易卜料定」以下の雑記。	12.5×17.1	44
二門	哲学	19	〔〕或問註解図巻 天経或問図巻弁解(柱)	刊	寛延3年12月 刊	2冊	(刊記)「干時/寛延三年庚午冬蜡月/筑南久 留米学官/入江平馬編述/東都書肆 嵩山 房/小林新兵衛求版」 入江平馬	1-6 受入77		26.0×18.3	85
二門	哲学	20	天経或問註解序巻	刊	寛延3年12月 序	1冊	(序1)「天経註解序/寛延庚午歳秋九月江都 望三英識」(序2)「天経或問註解自序/寛延 庚午冬蜡月東阿入江脩保叔選」 入江脩保叔(註解)	1-7 受入18		26.0×18.3	67

分類	整理番号		表題(≠外題・若しくは容器表題) 一部内題(序題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	枚番									
二門	哲学	21	方鑑/秘用 三元図解	刊	元治元年春 刊	5冊	(序1)「三言図解題言/弘化二年乙巳菴集仲夏吉辰/平安鶴洲松浦幸最編改(序2)「方鑑/必用 三元図解自序/元治改元上元甲子歲/晚夏吉祥烏/平安 松浦越後佳室補刻(刊記1)「元治元甲子春補刻校正/洛陽 長生館藏版(刊記2)「三都/発行/書肆京都二条通高倉西へ入町 田中屋専助版〔他10軒〕」	1-13 受入1		25.5×17.9	149
二門	哲学	22	卜筮經驗	刊	宝暦6年12月 刊	6冊 ※	(序1)「卜筮經驗序/宝暦甲戌仲春下流/從五位下能登守藤原朝臣忠通識(序2)「卜筮經驗序/宝暦壬申仲秋下流/東野後字松宮俊仍左次馬/書於隨運堂(刊記)「奥辰楼藏板/宝暦六丙子年十二月吉日/書肆 弘所/本白銀町通二丁目/近江屋藤兵衛」 隨員平次左内常知	1-14 受入3	※巻一～六迄存。	25.6×18.2	295
二門	哲学	23	新板/冊治 簾鑑	刊	慶安3年9月 刊	2冊	(刊記)「慶安三年九月吉辰/四条寺町前川茂右衛門開板」 安倍晴明(撰)	1-16 受入24		25.7×18.0	65
二門	哲学	24	宅相/極秘 洛地準則	刊	安政7年2月 刊	2冊	(序)「洛地準則序/安政六年夏六月撰于洋二齋中/鳴鳳老人/確所貞書(刊記)「洋々齋藏板/安政庚申仲春/発売/書肆 淡路須本通五丁目/福浦文蔵/大阪心齋橋筋安土町南五丁/鹿田静七」 多田鳴鳳	1-17 受入80		25.4×18.2	166
二門	哲学	25	家相一覧	刊	天保4年序	1冊 ※	(序)「家相一覧自序/天保四癸巳小寒日/松浦琴鶴識」 松浦琴鶴(撰)	1-18 受入23	※上冊のみ存。	22.3×15.9	34
二門	哲学	26	宅相方鑑/面道奥儀 河洛極秘伝之考	写	江戸後期写	1冊		1-19 受入40		24.1×17.0	11
二門	哲学	27	地理/風水 洛地略論	写	幕末・明治か	1冊		1-20 受入84	(識語・表紙)「加島英勝」	21.4×15.0	22
二門	哲学	28	家相伝巻三※ 五表測景曆日諺解(尾)	刊	江戸後期刊	1冊	(刊記)「江戸書林 日本橋通吉町目/千鍾房須原屋茂兵衛板」 柳精子	2-1a 受入22	※外題は後補の書題簽	22.5×15.7	42
二門	哲学	29	家相伝巻二	写	江戸末写か	1冊		2-1b 受入22	・「家相秘伝書巻之上」どの内題から始まるか続く内題は「家相秘伝書」とのみ。上下揃となっているのか否か判断としない。	22.7×15.7	68

分類	整理番号		表題(≠外題・若しくは容器表題) 一部内題(序題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・墨書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	校番									
二門	哲学	30	相学口訣	写	江戸後期写	1冊	(奥書)「林並隆授之(花押)」	2-2 受入35		23.9×17.0	14
二門	哲学	31	相法言彦解	刊	安永5年正月 刊	1冊	(序1)「相法言彦解序/安永四歳次之未仲春日/勢府独朗軒」(序2)「相法言彦解自序/安永三甲午歳初冬日吉備之中/州南洞浪土応享斎革斐柴且▲/自序」(刊記)「安永五丙申年正月吉日/京都書林 勝村治右衛門〔他5軒〕」 柴且	2-3 受入29	▲=レ(にんべん)十軍	22.0×15.6	170
二門	哲学	32	■法摘要 相法摘要(内)	刊	寛政10年6月 補刻	1冊	(序1)「相法摘要序/安永己亥秋七月/浪華奥田元経誌」(序2)「相法摘要自序/安永五年菴集少丙申春三月望日/浪速鈴木定堅撰入」(跋)「相法摘要後序/安永八年己亥春三月/男 定寛謹識」(刊記)「安永八年己亥九月/寛政十年戊午六月補刻/書肆 浪華野上利助〔他5軒〕」 鈴木了徳	2-8		18.5×12.4	126
二門	哲学	33	方監明鏡	写	江戸後期写	1冊		2-13 受入32		23.7×16.9	13
二門	哲学	34	掌中秘鑑	写	江戸末写か	2冊	菴荃子俊	2-14 受入28		21.3×14.8	154
二門	哲学	35	諏吉便覧	刊	文化13年2月 刊	2冊	(序)「嘉慶丁巳年。清和月上澣。錢唐/費淳。書於金閨節署」(跋)「諏吉便覧指南跋/文政戊寅年重陽月上澣前田東斎/書於朝陽堂」(刊記)「官許 文化八年辛未三月/癸兌同十三年丙子二月/大阪書林 藤屋善七〔他4軒〕」	2-15 受入37	・巻末に前田東斎著「諏吉便覧指南」を収録。	18.2×12.8	144
二門	哲学	36	察病書 占病軌範(内)	刊	文化13年7月 序	1冊	(序1)「占病軌範序/文化壬申陽月吉/加賀関重秀序」(序2)「序/文化十三丙子夏六月吉且/門人石見佐和世魚識」(序3)「占病軌範自序/文化十有三年丙子夷/則日/加賀井上主殿教親識」(見返)「浪華書肆星文堂/含章堂合刻」 井上教親	2-16	(識語・見返、墨書)「察病伝合又とあり。外題の墨書は次項37番の外題「察病伝」と同筆であることから、これと一頁のものとして扱われていたか。 (識語・最終丁裏、墨書)「養和文庫蔵」	22.2×15.6	69
二門	哲学	37	察病伝	写	江戸末	1冊	龍峯	2-17 受入101	外題の下に「龍峯著 乾坤全」とあるが二巻に分かれている形跡はなし。	16.9×11.7	162
二門	哲学	38	養和文庫/占卜事伝 掌中秘鑑 邵康節先生占例(内)	写	江戸末・明治 期写	1冊	邵康節(伝)、電蔵加島英勝(撰)	2-18 受入27	(識語・一丁目裏)「不詳他見蔵父引家訓 六箱三路巻/電蔵江南市隠蓑夫/英勝謹書」	24.7×17.3	62
二門	哲学	39	養和文庫/占卜事伝 諸伝秘録	写	江戸後期写	1冊		2-19 受入19		24.5×16.9	53

分類	整理番号	校番	表題(≠外題・若しくは容器表題) 一部内題(字題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・墨書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
二門	哲学	40	養和文庫/占卜事伝 解辞論及附録	写	江戸末・明治 期写	1冊	加島英彦君平	2-20 受入20		23.5×16.6	73
二門	哲学	41	養和文庫/占卜事伝 解辞論附言	写	江戸後期写	1冊	加島龍峯	3-1 受入21		22.6×16.4	85
二門	哲学	42	養和文庫/占卜事伝 掌中密鑑	写	江戸後期写	1冊	(奥書、諸々の抜書の内「筮法口訣」奥に) 「安政五戊午屠霜降良辰 長榮享信吾謹記」 新井白蟻伝	3-2		24.6×17.0	25
二門	哲学	43	日用重宝判易天心籤	写	明治12年7月 写	1冊	(序)「判易天心籤自叙/陰陽文林郎加島英 国識(奥書)」明治第十二巻次己卯初秋/七 月下旬 子俊記撰」 加島龍岳(英国)	3-3 受入62		26.0×19.0	10
二門	哲学	44	北斗北辰七星経	写	明治9年4月 以下写	1冊	(奥書)「維時明治第九年四月上旬/從中興 第一世順開上人謹行白」	3-4 受入33	(識語・仮表紙外題左下)「加島養和堂」 ・複製内容の合字。奥書は「豊后国速見郡 赤松山願成就寺南無妙見大菩薩御縁記」 「白」して記された一文の末尾。 ・墨書紙片挿み込み有。	24.3×17.0	8
二門	哲学	45	庚寅晴雨曆	写	江戸後期写	1冊	藤原英国	3-5 受入43		13.3×19.0	16
二門	哲学	46	太上感應編 靈験	刊	江戸後期刊	1冊		3-6 受入26	(識語・冊末、墨書)「西肥啓的」 (識語印、朱・陽・方)「月桂蔵本」	17.5×12.4	19
二門	哲学	47	手相明鑑	刊	寛政2年正月	1冊	(刊記1)「寛政元年己酉秋九月/東叡山麓下 谷竹町/書林星蓮堂 花屋久治郎梓」(刊記 2)「寛政二年庚戌正月吉旦/東都書林 西 村屋与八/花屋久治郎 同板」 悠然斎紀澤包(編)、安倍晴明※	3-7 受入16	※「手相明鑑」の悠然斎紀澤包編、「夢相金 鏡録」が安倍晴明著。	17.9×13.0	34
二門	哲学	48	月割判断記	写	文政10年写	1冊	(奥書)「文政十丁亥年写/元治元甲子年編 替」	3-9 受入36	(識語・裏表紙)「楽玩堂」	12.6×17.0	113
二門	哲学	49	納祇伝	写	江戸末写	1冊	(奥書)「此本新井白蟻先生門人の手より出 たる由/翠洲秘蔵教々字候之内此本納祇之 説一番宜由 片仮名書廿七枚を/平仮名に して十一枚二写終」	3-11 受入105	(識語・表紙外題左下、墨書)「龍峯蔵」	24.0×16.8	11
二門	哲学	50	地理/風水 河洛之弁	写	江戸末写	1冊	(奥書)「曲尺六尺五寸一間分間測量大工 (何所一傍記)何某因之/明治戊子春正月 吉辰日陰陽師龜城西/含翠堂相焉」	3-12・3-13 受入85	(識語・表紙)「養和文庫蔵」	14.8×10.9	75
二門	哲学	51	河洛極秘弁	写	江戸末・明治 期写	1冊		3-12・3-13 受入86	(識語・表紙、墨書)「加島英勝蔵」	14.6×11.2	48

分類	整理番号 番号	枝番	表題(≧外題・若しくは容器表題) 一部内題(字題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・墨書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
二門	哲学	52	名乗手鑑	写	江戸末写	1冊		3-15		6.9×12.2	27
二門	哲学	53	定/本 墨色小笠	刊	文政元年12 月刊	1冊	(序)「文政元年戊寅冬至前一日/北陸井上 主殿源教親誌于浪華/淡路町橋居」(刊記) 文政元戊寅年十二月刻成/大阪書林心齋 橋通博勞町角/伊丹屋善兵衛(他5軒)』 龜峯 戊申	8-7 受入119	(識語・後見返、墨書)「加島蔵書ノ内」 ・卜占書	17.6×11.5	70
三門	文学	1	曰杵古今和歌集	写	江戸末写	1冊		7-16・8-9 受入48	※旧目録7-16・8-11のいずれか不明。	25.0×17.2	37
三門	文学	2	百人一首■ (包綴カ)	写	文化10年10 月写	1冊	(序)「文化八年未初冬」(奥書)「此百人一 首は八幡滝本坊の真蹟成/けるを南都一兼 院の宮につたり(マ)ける/西尾彌重郎何集 か持■りぬるを与(マ)得/て写もの也/文化 十癸酉初冬中旬」	7-20・8-1? 受入67?	・奥書前は「右/八幡松花堂昭乘真蹟/無疑 者也/文化四年/初夏仲句 古筆/了意」の 極め迄臨摸。 (識語・奥書後)「亀脊下/陰陽館蔵書」 ・旧目録7-20・8-11いずれか不明	23.7×19.2	53
三門	文学	3	[都百人一首]※	刊	嘉永年間刊	1冊	(刊記)「嘉永大新版/浪花書肆/心齋橋通/ 敦賀屋丸兵衛(他4軒)』 (序)「文海堂あるし誌」	7-20・8-1? 受入67?	※序文に「都百人一首」と題した旨の記載あ り。 ・旧目録7-20・8-11いずれか当たるか。	22.1×15.3	54
三門	文学	4	三千能屋和歌集	写	江戸末写	1冊		8-4 受入71	(識語・裏表紙、墨書)「加嶋英國/秋草」 ・冒頭に「秋日同詠断月」題の和歌を置く。	25.8×18.2	17
三門	文学	5	[加島英国詠草集]	写	江戸後期	1冊	加島英国	受入70	(識語・表紙、墨書)「天保十一年庚子弥生/ 加島英国」	24.8×18.0	21
三門	文学	6	洲崎稻荷宮に奉る花の歌	写	天保11年3月 写	1冊	(奥書)「時は天保といふとの十まりひと せやよひ/筆者 ■田右也/発起 加島英 国」	8-5 受入57	(識語・表紙)「天保三年壬辰長月」「加島英 国」とあり。	18.4×12.1	8
三門	文学	7	松ヶ崎■稷廟に奉る紅葉の歌	写	天保3年9月 写	1冊	(奥書)「時は天保といふとのみとせ長月」	8-6		17.9×10.9	6
三門	文学	8	遊優園詠草	写	江戸後期写	1冊		8-8		17.3×25.1	10
三門	文学	9	(和歌懐紙「月似鏡」)	写	江戸後期写	1軸		23-2	・軸全体の寸法は1000×55.8cm ・和歌懐紙「月似鏡」■/世のなかの/人 の心を/うつりゆく/空行月や/かみなる/ 哉」を軸装。	33.2×43.5	

分類	整理番号		表題(≠外題・若しくは容器表題) 一部内題(序題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・風書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	枝番									
三門	文学	10	[英国詠草]	写	江戸後期	1枚		9-7	・加島英国の和歌詠草。「名所月」題。	28.4×40.2	1枚
三門	文学	11	雍通公筆■(和か)歌	写	江戸後期	1軸		23-6 掛軸「雍 通」?	・短冊を軸装「詩花句題 桜は花に/句へと や枝もうこかぬやまやまの/さくらは花に春 風や吹 雍通」 ・軸全体の寸法は124.0×29.8cm	短冊寸法 36.2×63	
三門	文学	12	[文台ひらきを祝して]	写	江戸後期	1枚			・短冊「雪の夜にひらくや窓の文からは ■ ■」	36.4×5.8	1
三門	文学	13	幽齋新宅賀漢和聯歌	写	江戸末写	1冊		8-3 受入59	・歌仙懐紙	18.2×12.5	12
三門	文学	14	猥俳諧之連歌	写	文化6年11月 か	1冊	(端作)「文化六年霜降月晦日興行」	9-6		16.1×44.3	2
三門	文学	15	俳諧古今明題集	写	江戸後期写	3冊 ※	〔春〕の冊奥書)文化九壬申菊月下流/ 無々菴編(「秋」の冊奥書)「文化十癸酉文 月下流/無々菴編」「冬」の冊奥書)「文化十 癸酉霜月中流/無々菴編」 無々菴吐洲(編)	7-1 受入56	(藏書印、印文不明) ※本来「夏」の冊と併せ四冊揃であったか	12.7×18.5	303
三門	文学	16	無々菴句集	写	江戸後期写	1冊	無々菴吐洲	8-15 受入60?		12.2×17.8	31
三門	文学	17	無々菴拾遺集 俳諧八重山吹	写	江戸後期写	1冊	無々菴吐洲	7-9 受入54		23.5×17.4	39
三門	文学	18	無々菴/発句集 俳諧くちなし衣	写	江戸後期写	2冊	(序1)「俳諧くちなし衣叙」 (序2)「くちなし衣次序/於亀城無々菴/吐洲 誌/文化二乙丑」 (序3)「于時文化二乙丑首夏/客膝盧/百昏 感識」 (序4)「詠吐洲俳諧集/中篇正香」 (序5)「伊予/清幽盧」(跋)「題吐洲俳諧集後/ 文化乙丑夏五月 広瀬正興撰并書」 無々菴吐洲	7-10 受入45		26.6×19.8	91
三門	文学	19	[句集]	写	江戸後期写	1冊		7-12? 受入72?	・天和三年から元禄七年までの句集抜書 ※五冊合綴。	12.7×18.9	111
三門	文学	20	俳諧豊後梅	写	文化6年11月 序	1冊 ※	(序1)「序/戸骨院/里樹/于時寛保二戌三冬 の末雪降日」(序2)「自叙/文化己巳仲冬/雪 分裂誌」 無々菴吐洲(撰)	7-13 受入44		25.4×17.3	215
三門	文学	21	[句集歌集雑稿]	写	江戸後期写	1冊		7-14?		12.3×10.8	31



分類	整理番号 番号	校番	表題(≧外題・若しくは容器表題) 一部内題(字題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・奥書等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
							著者・編者等				
三門	文学	22	無々庵俳文集	写	江戸後期写	1冊	無々庵吐洲 加島英国作か	8-12		23.5×16.6	63
三門	文学	23	詩文集	写	江戸後期	1冊		11-2 受入50?	「寛政十一年己未歲旦」から、壬子(嘉永五年)までの作詩年代を記す。	25.4×18.9	25
三門	文学	24	芭蕉翁絵詞伝	刊	寛政5年4月 跋	3冊 ※	(跋1)「寛政四年子の冬十月十二日/蝶夢幻阿弥陀仏/證書」 (跋2)「寛政五年癸丑歲四月/湖南菊二井口保孝忠需書」 (刊記)「蕉門俳諧書林 井筒屋庄兵衛/橋屋治兵衛」 狩野正采(画)蝶夢(詞)	7-2 受入46・65		27.9×19.5	86
三門	文学	25	秘記註秘集 秘記註秘集・連歌手爾於葉大事(内)	写	江戸後期写	1冊		7-3 受入61	・二伝書の合写。 (識語)「八千坊/無々庵/雅(奥?)」	23.5×17.0	43
三門	文学	26	俳諧伝聞書	写	江戸中期写	1冊		7-4	・西尾市岩瀬文庫古籍書籍誌「ターター」 に拠ると、「俳諧伝授」(函号158番号67)と 冒頭内容見出し一致。	27.8×20.4	21
三門	文学	27	廿五箇条/尽錦抄	写	江戸末写	1冊	(奥書1)「右者俳諧之新式二十有五ヶ条/尤為我家之節目也則於落/柿舎自書而与去來見之識之/可明自己之俳諧不可依与他人/尤道之尊重也/元禄元戊辰林鐘日芭蕉菴/桃青判」(奥書2)「元禄二己巳閏正月日」	7-5 受入69		28.3×21.0	33
三門	文学	28	奥要集	写		1冊	(奥書)「秘書奥要集長頭丸/季吟蕉翁」 時■/伝來之抄こたひ書写を許/口受法を伝へ畢尤神覽/之趣不出窓外慎執字可有之者也/■/享和二年戊首夏/吐洲■	7-6 受入55		24.8×18.0	19
三門	文学	29	謝諧伝	写	文化2年8月 写	1冊	(奥書)「右二書秘記及手尔於葉伝并/会席の一卷蕉翁より半翁及/伝來則二書一卷といふ一派詠/道の奥藤大切之抄也年来深切/之懇望此度書写を免猶又伝授/示教口受残らず伝ふ然而上意/譬諭雖親子兄弟他見他聞/有間敷候尤誓盟証而可秘蔵/可有之懐もの也/木■/文化二年丑葉月日/吐洲主人」	7-8		24.1×18.1	18
三門	文学	30	芭蕉流俳諧秘事聞書	写	江戸後期写	1冊		7-11 受入73		22.8×16.7	59

分類	整理番号		表題(=外題・若しくは容器表題) 一部内題(序題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・奥書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	枚数									
三門	文学	31	韻語紫之巻 韻語紫之巻・密書切紙秘伝良葉抄・ 韻語秘伝書・相伝一大事秘切紙廿五 ヶ条付七ヶ条(内)	写	享和2年4月 写	1冊	(奥書1)「此二書は連誦の秘事口伝なれども 残らず良室の兩人にゆするものなり門人 多しといへども予か肝胆を吐/露するものは 此兩人の他なし故貞徳の二字をわかち たへて我にかはらしむるもの也」「貞徳/良 徳 貞徳直伝/常春 良徳直伝/延清 常 春直伝/往秀 延清直伝(奥書2・奥書1の 次下)「浦安韻語之秘書良葉抄/紫紺之巻 二五箇条并/七ヶ条此度因想望書写/口授 法伝受懐而秘蔵/修字専大切之事也尤/不 出窓外他見他聞有へ/からす神■之趣可相 ■/もの也/享和二年戊首夏 [ ]/吐洲 ■」	7-17 受入52	・貞徳流を称する俳諧伝書の合写。	24.6×18.0	37
三門	文学	32	狂歌栗下宗匠伝系 狂歌栗下宗匠伝系・貞橋狂歌集(内)	写	江戸後期写	1冊		7-18 受入49	・主たる内容は貞橋の狂歌集、その前に貞 徳門人貞因の男貞柳から貞橋に至る伝系 を置いた形をとる。	25.7×18.2	17
三門	文学	33	連歌手爾於葉大事(内)	写	江戸後期写	1冊	(奥書)天文廿四年三月三日 宗牧判/宗養 判/長慶朝臣/三好修理大夫長慶	7-19・8-11 受入47・66?	・所謂「連歌秘抄抄」。末尾に「聞書」一丁半 を付す。	24.3×18.2	22
三門	文学	34	連歌手尔於葉之大事	写	江戸後期写	1冊	(奥書)「右秘記及手尔於葉伝/并余古法之 一卷師翁/半時菴より伝来則二/書一卷と いふ一派韻語/道の奥秘大切之抄也/年来 深切之懇望此/度書写を免し猶又/伝受尔 教口受不残相/伝ふ然上八警兪雖/親子兄 弟撰他見他/聞有間敷候尤誓盟有/之事慎 而敬へし可/有秘蔵者也/八千■」	7-19・8-13 受入47・66?	・貼紙多し。	27.7×20.6	30
三門	文学	35	講釈集	写	江戸後期写	1冊	加島英国	8-2	・「小倉百人一首講釈」「和漢筆法伝授由 来」「臨池学書法の秘文」等より成る。	24.4×16.4	45
三門	文学	36	俳諧系譜(内)	写	文政8年以降 写	1冊	「文政八酉年三月/松月庵(花押・朱陽刻 印) 文暁(著) 花屋庵奇烈(校)		・「芭蕉翁桃青」から「三月堂桃冥」までの系 譜	18.1× 210.0	1
三門	文学	37	芭蕉翁反古文	写	江戸後期写	1冊	(序)「芭蕉談終焉記序/文化七秋八月五日 東肥乞隠文暁識」	7-15・8-14? 受入51		23.6×16.8	30
三門	文学	38	(半時庵画賛句)	写	江戸後期	1冊	(奥書)「右老師半時庵画賛之句/公江認差 上仍而記之/佳芳(朱印2つ)	23-1 掛軸「佳 方」?	・軸全体の寸法は115.5×47.0cm	28.3× 38.8cm	

分類	整理番号		表題(≠外題・若しくは容器表題) 一部内題(序題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・墨書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	枝番									
三門	文学	39	(漢詩)誦詩聞國政/講易見天心J)	写		1軸	(奥書)「平安上六位親寿堂井坂常陸大掾 平英一書(朱印2つ)」	23-3	・軸全体の寸法は17.5.5×45.0cm ・「社頭立秋」題和歌懷紙とあわせ軸装。 ・表紙裏に「昭四五 加島修氏寄贈」とワ ヅツクペン書き。	123.4× 32.7	1
三門	文学	40	諸文押義要括集之卷(内)	写	江戸末写	1軸		4-5	(識語・巻末・墨書)「翰林院学士正五品李 大白伝/蓮文舎醉墨」 ・ラベル「A4-38-右表3」 ・漢詩の起り等、中国詩学の抜書。 ・ポール紙表紙に「加島資料」と墨書。	18.4× 285.1	-
三門	文学	41	対聯全書	刊	中華民国14 年	1冊	(序)「序言/中華民國十四年仲冬本局主人 謹識」(刊記)「上海/開北新民路/大観書局 印行」	受入42		20.1×13.4	18
三門	文学	42	辛巳/冬日 西筑紀行	写	文政4年	1冊	加島英国か	11-5	※(表紙の特徴)後ろ表紙なし。	24.4×17.1	11
三門	文学	43	東日記	写	嘉永4年4月 ~8月	1冊	加島英国	11-7	(識語・最終丁裏・墨書)「加島氏」	8.4×17.8	
三門	文学	44	勢陽紀行	写	天保年間	1冊		11-8	(識語・後補表紙、ペン書)「加島英国」(識 語・元表紙・墨書)「加島氏」 ・「天保十四年癸卯二月五日/戊寅建天赦 萬告からばしまる天保期の紀行文。末尾に 「京城勝覧」を抄出。	7.8×16.6	136
三門	文学	45	標註/図画 長崎紀行	写	江戸後期	1冊	(序)「文化二年乙丑夏四月穀旦/播州奥田 元繼題於浪華拙古書堂」(本奥書)「明和四 年丁亥冬十一月菅州水戸長玄珠記」(書写 奥書)「嵩明堂加島英国写」(刊記写)「文化 二歳乙丑孟春 浪華高麗橋二丁目/淺野弥 兵衛(他5軒)」 長久保玄珠	11-15 受入88	・文化二年版本の写し。	24.8×17.2	32
三門	文学	46	新編金瓶梅第七集/下帙七之卷	印刷	大正13年12 月刊	1冊	発行所 米山堂	11-17	・稀書複製会叢書五百部之内第三六七号	23.6×16.5	
三門	語学	1	韻鏡法要	写	江戸末写	1冊		3-10 受入58	(識語・後見返・墨書)「陰陽館」	16.7×12.3	39
三門	語学	2	梁周興嗣次韻/正音千字文	写	江戸後期写	1冊	周興嗣著	12-4 受入115		26.0×18.6	32
三門	語学	3	嘯樓錢俊選集韻/正音後千字文	写	江戸後期	1冊		12-3 受入122	・完本か否か不明。	26.2×19.2	33

分類	整理番号		表題(=外題・若しくは容器表題) 一部内題(字題・目錄題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・墨書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	枚番									
四門	歴史	1	和漢年契	刊	文化13年刊	1冊	(序)「叙/寛政八年丙辰冬十月/津国 三村其原(破)「丁巳夏 越前 中凡(?)光題」(刊記)「寛政九年丁巳新編/文化二年乙丑改正/文化十三年丙子新/増補校正 書林 大阪宣英堂葛城長兵衛「他5軒」」 蘆屋山人	1-12 受入83		26.5×18.4	55
四門	歴史	2	日本史集/倭千字文※	写	天保7年	3冊 ※	(奥書1・第一冊末)「皇国天保七年丙申弥生望日/豊日別州真丹県於三千舎文足揮毫」(奥書2・第二冊末)「皇国天保七年丙申卯月廿一日/豊日別州真丹県於三千舎文足揮毫」(奥書3・第三冊末)「皇朝天保第三龍集歲次亥▲執徐/星秋編述于豊日別州/真丹県麓城西墨江簿/三千舎南泉窓下文足揮毫」 加島英国	8-17 受入120・121	※第三冊目の外題及び内題は、「前後二編省字/拾遺千字文」。 ※第三冊目は縦25.8×横19.1cmで前の二冊と大きさも異なる。 ▲ニへんが(黒)+つくりか(戈)	26.6×19.6 ※	98
四門	歴史	3	日本史集/倭千字文続編	写	天保7年	1冊	(奥書)「皇国天保七年丙申皇月十二日/豊日別州真丹縣於三千舎文足揮毫」 加島英国著	12-14 受入120	・「A4-21-右表3」のラベル、表紙右上に貼付。 ・おおよそ慶長五年から宝永元年迄の紀事を「京都」「武江」「諸国」「御当家」「当町」で対照。 ・旧目録8-15・8-19・12-11・12-12・12-13に問題もしくは類題書目あり。	27.7×18.7	34
四門	歴史	4	温故年表録	写	文化14年8月 写	1冊	(奥書)「文化十有四歳次疆圉赤奮若桂月/編輯焉」 加島英国	8-15 受入107?	・印籠蓋箱上げ底。縦38.9×横26.3×高さ9.9cm。箱の底に「十二月廿七日/会所/掛町加嶋弥平太事/年表録仕立/大殿様江差上候付/銀拾枚御面表枚/被下候其通可/甲聞候」と記した紙を貼付。蓋の右上に「甲号 一」の紙片貼付。「拾九」と朱で直書。在箱蓋内に「天保六年乙未四月十五日/御在所町人加島弥平大江/認被仰付出来=候栗屋静勝/持参差上之」「淺黄表紙二冊/天保十四卯閏九月/栗屋静勝出府候前持参/此家系二冊文久元年御在所御持込/御用人ニ御下ニ相成」と記した紙片を貼付。 ・上巻、慶長五年～元禄十六年。中巻、宝永元年～宝暦十三年。下巻、明和元年～文化十四年。	28.3×21.0	20
四門	歴史	5	温故年表録	写	江戸後期	3冊	加島英国	8-19 受入107?		35.3×24.1	83

分類	整理番号	枝番	表題(≧外題・若しくは容器表題) 一部内題(字題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・風書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
四門	歴史	6	温故年表録 乾(坤)	写	文化3年頃	2冊	加島英国	12-12	・(畿語・表紙、墨書)「龍岳加島英国輯」 ・ラベル[A1-50-右表2] ・乾冊、慶長五年から宝暦十三年まで、坤冊、明和元年から文化三年まで ・旧目録8-17・8-21・12-11・12-12・12-13に 同題もしくは類題書目あり。	27.9×20.2	83
四門	歴史	7	嵩永再訂諸家盛衰考/温故年表録大 全	写	弘化2年頃	1冊	加島英国	12-13	・(畿語・表紙、墨書)「從慶長至正保編/五 十年間事実細記/豊州臼杵邦人授翁加島 英国著」・(畿語・表紙、墨書)「從慶長元 丙申至正保二乙酉五十年細考/正保三丙 戌ノ元禄八乙亥同ノ元禄九丙子ノ延享二 乙丑同ノ延享三丙寅ノ寛政七乙卯同ノ寛 政八丙辰ノ弘化二乙巳同ノ総年歴百五十 年來鑑古而ノ可知於今云爾 信古堂主人 輯」 ・表紙紙識語によれば、もと五冊本の第一 冊か。	26.2×19.1	53
四門	歴史	8	訓蒙故事集/臼杵千字文	写	天保11年9月 写	1冊	(奥書)「皇国天保十一龍集歳次上章 因教 菊月/司天宮下得業陰陽文林郎龍岳崎建 寅/書于墨江東兵垂柳南陰高明堂」 加島英国	8-20a	・(畿語・木箱底、墨書)「天保辛丑秋恭書」 ・木箱蓋に「甲二」と墨書した貼紙有り。 ・木箱、縦34.2×横25.3×高4.6cm。	30.3×21.4	32
四門	歴史	9	訓蒙故事集/臼杵千字文	写	天保11年9月 写	1冊	(奥書)「皇国天保十一龍集歳次上章 因教 菊月/司天宮下得業陰陽文林郎龍岳崎建 寅/書于墨江東兵垂柳南陰高明堂」 加島英国	8-20b	・(畿語・木箱底、墨書)「天保辛丑仲秋恭 書」 ・木箱蓋右上隅に「十九」と朱書。 ・木箱、縦34.4×横25.2×高4.8cm。	30.3×21.3	32
四門	歴史	10	臼杵千字字序	写	江戸後期写	1冊	稲葉直好	12-15a 受入116	・本文中に「今茲天保癸卯春将上木以上と あり」。 ・表紙右上に「A4-104-右表1」のラベル貼 付。 ・「A4-79-右表3」のラベル、表紙右上に貼 付。 ・小林常三氏寄贈。	27.1×20.5	5
四門	歴史	11	訓蒙故/事集 臼杵千字文	写	天保14年頃	1冊	加島英国	12-15b	・「A4-79-右表3」のラベル、表紙右上に貼 付。 ・小林常三氏寄贈。	23.3×15.2	26
四門	歴史	12	滿野長者伝	写	江戸後期	1冊		11-3 受入118		24.4×16.0	43

分類	整理番号		表題(=外題・若しくは容器表題) 一部内題(序題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・風書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	枝番									
四門	歴史	13	切支丹宗渡海来由	写	文政13年	1冊	(奥書)「日高明堂加嶋英国写/永禄十一戊辰年より今文政十三庚寅年迄/二百六十二年/寛永十四年嶋原陣より今文政十三年迄/百九十三年」 加島英国	11-14 受入114		18.1×12.6	42
四門	歴史	14	長崎道中日記	写	安政6年	1冊	(序)「安政六未の睦月晦」 加島英国	11-6	※「嘉永七年甲寅二月廿三日」に「臼杵城下」を出立し「岡城下」「阿蘇宮」「大津駅」を経て「熊本城下」に入り「瀬高宿」「久留米」「佐嘉城下」から長崎入りをした後、臼杵着の復路を記す。	13.0×18.5	88
四門	歴史	15	みちしるへ	写	江戸後期写	1冊		11-9	(識語・仮綴)裏表紙、墨書)「加島氏」 ・「臼杵ヨリ大阪迄海上航路ノ星数」迷信・俗信の類を一ツ書で記す。	7.8×16.7	101
四門	歴史	16	桜翁雜録	写	江戸後期写	1冊	加島英国	11-10	(識語・元裏表紙、墨書)「加島氏」 ・ラベル「A1-86-右表2」	8.6×18.2	162
四門	歴史	17	龜城藩臣分限録	写	天保2年5月	1冊	(奥書)「天保第二辛卯曆五月上流写焉」	11-11 受入123	(識語・裏表紙、墨書)「当城十四世太守/幾通尊公御初入/御伊風絵図御用/加島氏」 ・ラベル「B3-8-右表3」	37.2×12.9	30
四門	歴史	18	大友鷹下姓名録	写		1冊		11-12 受入99	(貼紙・表紙)「加島英国資料」、(識語・裏表紙、墨書)「加島氏」 ・ラベル「I1-71-右表3」	34.1×12.5	22
四門	歴史	19	大東世語	写	江戸後期	1冊	(序)序以語小子。南郭服元喬 服部南郭	11-16 受入78	・版本写し	24.1×17.2	49
四門	歴史	20	訃準開口新語	写	江戸後期	1冊	(序)寛延四辛未之春三月/播磨清駒撰 岡白駒	11-18 受入108		12.7×13.6	16
四門	歴史	21	明治/新刻 国史略	刊	明治22年10月刊	6冊	東生書館発行、第四版 石村貞一(編集)	11-19 受入81	・一冊目(第一巻)欠	22.8×15.7	
四門	歴史	22	西国諸家盛衰記	写	江戸後期	2冊	(序)「西国諸家盛衰記叙/元禄壬申上巳日柳隠子玄隆自序」 馬場信意著	11-20 受入75	・上冊五丁裏に「臼杵図書館ニ于てして円形朱印「淵」を押し、「西国諸家盛衰記」作者馬場信意について記したペツ書きの一枚貼付。	23.4×16.3	182
四門	歴史	23	聖徳太子日本国未来記	写	江戸後期	1冊	(本奥書)「右此書ハ出ツ撰州天王寺/宝庫3川(刊記写1)慶安元年初冬吉日」	12-1 受入112	(識語・巻末、墨書)「本書板本ニ于テハ枚」 ・慶安元年版本からの写。	24.6×16.7	4

分類	整理番号		表題(≠外題・若しくは容器表題) 一部内題(字題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・墨書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	枚番									
四門	歴史	24	国祥便覧	写	江戸後期	1冊		12-8 受入82		24.3×16.7	27
四門	地理	1	臼杵詣(内)	写		1冊	(奥書)「亀城の西墨江の流れにすめる/柳齋 ■夫識」 寛心斎蝶夢	8-18 受入68	奥書後に「石家君寛心斎蝶夢大人之/作文 なり」。	22.2×15.2	8
四門	地理	2	豊後国志	写	江戸後期	2冊	(序)「享和癸亥孟夏東肥古髯譚」 (凡例附言)「享和三年癸亥十有一月 伊藤 猛/田能村孝憲謹識」 (跋)「享和三年十一月 伊藤猛/田能村孝 憲頓首再拜」 唐橋世済(纂輯)	受入76		25.0×18.9	127
四門	地理	3	臼杵地誌/武家閑談	写	江戸後期	1冊			・後補ページ紙表紙の外題右に「加島英 国」と記す。	25.0×17.6	26
四門	伝記	1	大友家系・大友松野両家系図	写	江戸後期写	1冊		12-2 受入93	「大友家系」は鎌足から義孝、その息万 助、長十郎迄。「大友松野両家系図」は義 統から義路迄。義路について「文政/八乙酉 年七月無官高家被仰有天保十三年壬寅十 二月喪高家被仰付」と記す。 ※本来二冊であったものを、背に紙を貼り 合綴。	24.3×17.1	17
四門	伝記	2	御家瑞標目 稲葉御家系(内)	写	江戸後期	1冊		12-9 受入97		26.8×19.8	17
四門	伝記	3	將軍家御略系並御三家/御三卿/草稿	写	嘉永4年冬	1冊	加島英国	12-10 受入95	(識語・表紙・墨書)「嘉永四辛亥晩冬」(識 語・1丁目表)「嘉永辛亥冬臼杵人桜翁加島 英国謹識」	24.9×17.0	57
六門	天文	1	天文成象	写	江戸中期	1軸	(奥書・天文図を挟む形で)「元禄十二歳次 己卯春三月日/保井昔尹謹誌焉」 保井昔尹	23-7		27.6× 161.0	
七門	美術	1	〔蔵書印譜〕	写	江戸末編か	1冊		9-2	・蔵書印の集成。臼杵藩関係者のものか。	9.2×16.5	22
七門	美術	2	双鉤・単鉤 執筆撥置法(内)	写	江戸後期	1冊	(跋)「享保己亥三月十三日…広沢如土知 慎題/享保九年甲辰夏五月書 男知文」 広沢知慎	11-4 受入117	・末尾に「撥置名義」(米荻主人述)を付す。 ・二松学舎大学に広沢知直『筆道極意伝撥 置真蹟』あり	28.2×20.0	25
七門	工学	1	新銃射放論	刊	安政4年10月 刊	1冊	(見返)「安政四年丁巳孟冬健行」 ハント/フォルストラテン(原著)赤松清治郎 (訳)		(蔵書印、朱・陽・方印)「赤松蔵書」 ※折り込み図3枚あり。	26.0×18.0	29※

分類	整理番号		表題(三外題・若しくは容器表題) 一部内題(序題・目録題含む)採録	刊・写	制作年代	員数	刊記・風書等 著者・編者等	旧目録・ 受入目録	備考	法量	丁数
	番号	校番									
八門	雑著	1	手本文章集草	写	明治期※	1冊		12-6	※13丁目表の「明治七甲戌年十二月」の書き入れ。14丁目表の「明治七戊七月七夕客年」の記事より。	24.1×16.5	17
八門	雑著	2	手本文章	写	江戸後期	1冊		12-7 受入53	・往來物、詩歌撰集等からの書抜き。	25.8×19.0	111
八門	雑書	3	不求人	刊	清版	1冊	(刊記)「上海錦章図書局印行」		・ボール紙表紙に「英國資料」と墨書。	20.2×13.5	15